

高濃度に放射性セシウムで汚染された魚類の汚染源・汚染経路の解明のための緊急調査研究 (別紙2)

東電福島第一原子力発電所事故後1年半以上が経過して、多くの水産生物で放射性セシウム濃度が現象の兆しを見せる中で、アイナメ、クロダイ等で、高濃度の汚染が突如検出され、大きく報道された結果、厳しい検査体制を経て出荷された試験操業の対象品までが消費者から敬遠。これは高濃度汚染の原因が特定できないことが理由。また、東北及び北関東の内水面漁業においては、イワナ、ヤマメ等の放射性セシウム濃度が低下せず、出荷制限等の規制が続いており、遊漁もできない状態。そこで、海底等の汚染状況の詳細な把握と高濃度汚染魚の汚染経路と汚染原因を解明して内水面ならびに沿岸漁業の振興に寄与する。

海水魚

実施機関: (独)水産総合研究センター

実施項目①: 高濃度に放射性セシウムで汚染された海産魚の汚染源解明
テーマ細目Ⅰ: 高濃度汚染魚の発生頻度調査
テーマ細目Ⅱ: オートラジオグラフィー実験
テーマ細目Ⅲ: 環境放射能測定調査
実施項目②: アイナメ等沿岸性魚類の移動生態の解明
テーマ細目Ⅰ: 標識放流等による高濃度汚染魚の移動特性調査

実施機関: (国)東京大学生産技術研究所

実施項目①: 原子力発電所周辺海底土の汚染状況把握
テーマ細目Ⅰ: 海底土放射能分布測定システムの開発

実施機関: (独)海上技術安全研究所

実施項目①: 原子力発電所周辺海底土の汚染状況把握
テーマ細目Ⅰ: 海底土放射能分布分析技術の開発

実施機関: (国)東京大学大学院

実施項目①: 魚類におけるカリウムおよびセシウムの動態の解明
テーマ細目Ⅰ: カリウム/セシウムの排出に関与する塩類細胞型の特定
テーマ細目Ⅱ: 環境水や餌料中のカリウム濃度が塩類細胞活性に及ぼす影響解明実験

淡水魚

実施項目③: 高濃度に放射性セシウムで汚染された内水面魚類の汚染源解明
テーマ細目Ⅰ: 安定同位体比等を用いた汚染経路推定調査
テーマ細目Ⅱ: 種苗生産過程における放射性セシウム動態調査、および現場飼育による蓄積過程の把握

実施機関: (独)森林総合研究所

実施項目①: 奥日光周辺水域における森林の汚染状況把握、内水面魚類の餌生物の放射性Cs濃度分析、経路解明
テーマ細目Ⅰ: 森林および河畔水域の放射性セシウム汚染状況調査
テーマ細目Ⅱ: 内水面魚類の餌生物の放射性Cs濃度分析と汚染経路推定調査

実施機関: 栃木県水産試験場

実施項目①: 中禅寺湖周辺における魚類の年級別汚染状況の把握
テーマ細目Ⅰ: 中禅寺湖周辺における魚類の年級別汚染状況の把握
テーマ細目Ⅱ: 現場飼育および清水飼育実験による放射性セシウム蓄積・排出過程調査